

博物館活用カード

| | | |
|---|---|---------|
| 活用学年及び時代 | 小学校6年 中学校 | 奈良・平安時代 |
| 活用資料コーナー及び資料名 | 三芳野の里川越 須恵器、瓦経 | |
| 資料についての解説 | 須恵器...奈良・平安時代にわたってつくられた。渡来人によって大陸から伝えられた土器で、その製作にはろくろを使い、1000度以上の高温で焼いた。 瓦経...喜多院の多宝塔の下から出土した。西日本に多く見られる。 | |
| 学習内容 | ・大陸の文化がはいつてくることによって、生活に変化が見られること。 | |
| <p>〔博物館での学習〕</p> <p>須恵器を見て、弥生式土器と比べて違っているところを見つけてみよう。 色や筋に着目させる。</p> <p>ろくろが使われるようになると、そのほかにどんなところが変わってくると考えられるか。予想してみよう。</p> <p>瓦経の中から、知っている漢字を書き出してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> この頃には漢字が使われており、今と変わらないものもある。 <p>仏教が伝わることで、ほかにどんなことが変わってくると考えられるか。</p> |   <p>喜多院出土瓦経</p> <p>不厭患無求出意舍利弗是長者作 是思惟身手有力當以衣械若以几 案從舍出之復更思惟是舍唯有一門 而復狹小諸子幼稚未有所戀著 戲處或當墮落為火所燒我當為說 怖畏之事此舍已燒宣時疾出無令 為火之所燒害作是念已如所思 (太字は残存部分)</p> <p>△瓦経白文△ 出典 法華経譬喻品(表) 故牆壁頽落柱根腐敗梁棟傾危周 巾俱時歎然火起焚燒舍宅長者諸子 若二十或至三十在此宅中長者見是 大火從四面起即大驚怖而作是念我 雖能於比所燒之門安穩得出而諸子 等於火宅內樂著嬉戲不覺不知 不驚不怖火來逼身苦痛切己心</p> | |
| 評価の観点 | <ul style="list-style-type: none"> ・須恵器は、弥生式土器と比べて、どのようなところが違うかを見つけることができる。(技能・表現) ・大陸からの文化が入ってくることで、どんな所が変わってきたのかを考えることができる。(思考・判断) | |
| 活用のための留意事項 | ・ワークシートとともに教師の助言等が必要。 | |